

もし、あなたが就職活動で悩んでおられるなら、
このレポートが役立つかもしれません。
ハローワークの相談窓口を利用された方々の
就職への道程です。

就活レポート

職業相談事例集

職業相談第1部門

令和元年度 No. 1

ハローワークの職業相談窓口には、様々な悩みや課題を抱えた方が来られています。職業相談窓口の相談員は、お話を聴きながら、どのようにすればそれらの悩みや課題が解決するのかを考え、適宜助言・提案などを行っています。

希望の就職を実現させるには、ご本人がどのような就職をしたいのかをしっかりと思い描けていることが大切です。迷ったり遠回りしたりすることもあるでしょう。相談員と一緒に、ご本人が持っているものを整理し、できることや強みを確認し、就職実現を目指しましょう！

それでは、職業相談窓口を利用された方が就職に至ったいくつかのケースをご紹介します。もし、あなたのケースに似ている事例があれば、就職活動の参考になるかもしれません。全く別のことで困っておられるのなら、職業相談窓口のご利用をお勧めします。一人一人に合った支援をしていますので、お気軽にお越しく下さい。

就職活動を成功させるため、一人で悩まずぜひご相談ください。

ケース1（20代・女性）	2
ケース2（50代・女性）	3
ケース3（30代・男性）	4
ケース4（50代・男性）	5
ケース5（30代・女性）	6
ケース6（20代・女性）	7
ケース7（30代・男性）	8
ケース8（50代・男性）	9
ケース9（20代・女性）	10

※ご紹介する事例については、ご本人の掲載許可をいただいています。

ケース1（20代・女性）

来談経緯

家庭の事情で大学を本日付で中退。現在は大阪でアルバイトを掛け持ちして一人暮らしをしているが、妹がいる東京で、子どもに関わる仕事に就きたい。

課題

- ① 子どもに関わる仕事を希望しているが、資格や実務経験がない。
- ② 早期に東京での就職を希望するも、就職活動経験が全く無い。

相談内容

ご本人の話から、資格・実務経験は無いが、母が自宅で預かり保育をしており、それを手伝っていたため、子どもとの関わりの経験が豊富であることがわかった。アルバイトを掛け持ちしながらの就職活動で時間的制約があるが、就職活動に対する積極的な姿勢が見られた。疲れすぎないようにご本人のペースで面談を重ねていった。

自己PRの内容を整理・確認し、応募書類添削を実施。転居予定の東京エリアの求人情報を提供しながら応募先の選定を行った。模擬面接と、面接後のお礼状の準備等、しっかりと面接対策を行った。

支援結果

希望通り、東京での放課後デイサービスの指導員として就職が決まった。転居準備等で忙しくされていたが、就職の報告の際には将来の夢も語っておられた。仕事が軌道に乗れば、大学卒業の資格を取って、小学校教諭に挑戦したいとのこと。

この度の就職が実現できたことは、大学中退・東京への転居という予期せぬ不安な状況にありながらも、自身の就職像をしっかり思い描くことができ、目標をもって行動した結果である。

ケース2（50代・女性）

来談経緯

夫の転勤に伴い、先日東海地方から大阪に来た。夫の扶養の範囲内、家事との両立ができる時間帯での仕事を前提に、事務か軽作業を希望。月に1回は東海地方の自宅を見に帰りたいので、休みがあらかじめ分かるところを希望。

課題

- ① 転居したばかりで地理が不案内なこともあり、何から手をつけて良いかわからない。
- ② 仕事と家庭の両立を重視しているため、時間のバランスを考える必要がある。
- ③ 夫の今後の転勤の可能性とともに、夫の定年退職（2年後）に伴う経済状況の変化を意識し、自宅（東海地方）に戻ってからの再就職活動についても考えていく必要がある。

相談内容

今までやってきた仕事の振り返りを行い、キャリアを整理しながら職務経歴書を作成することで、自己理解を深めた。今後のキャリア形成を図るうえで、どのような仕事に就くか、将来の働き方も意識してもらえるように働きかけた。仕事と家庭の両立を実現するために、働ける時間や日数、通勤時間など具体的なタイムテーブルを作成し、どのような働き方が最も適しているのかを確認した。

その上で仕事内容や勤務条件が合う求人を提供し、応募を進めていった。

支援結果

「育児など家庭の都合に合わせて働けます。家庭との両立も比較的容易な環境です。」と記載があるパート求人（事務職）の情報を提供、応募することになった。求人者に対し、求人票記載の勤務時間より1時間短くできるかを確認したうえで応募書類を送付。面接の結果、ご本人の希望の時間帯での採用となった。

ケース3（30代・男性）

来談経緯

前職では電話応接部署の管理者としてアルバイト採用と教育に携わっていた。今後は企業の人事部署において採用や労務関係の仕事をしたいが、ネットで求人を探して応募しても、書類選考を通過しない。

課題

- ① アルバイト採用の経験はあるが、希望職種である企業での人事労務職は未経験。正社員の採用や社員教育・能力開発においては、人材開発における長期的視点が必要。
- ② 企業の人事の仕事にしか目が向いていないが、中小企業の場合は、独立した人事部でないこともあり、総務や経理を含む業務をするようになった場合に不足するスキルについての考察が必要。

相談内容

人事労務職はほぼ未経験であるので、給与面に拘らず、未経験者として教育してもらえる環境の職場を目指すことにした。

アピールポイント・強みの抽出、将来にわたって活躍できる部分を把握する作業を行った。応募に際しては、自分の希望と企業が求めているものがマッチングしているかを一緒に吟味し、面接するたびに振り返りを行った。実際にやりたいことが何かについて分析を行うことで、強みや不足するスキルを自身が見極め、面接で伝えられるように支援した。

支援結果

初めての来所時には、書類選考を通過できない理由、就職実現に必要な要素が何なのかが分からなかったが、人事労務の職域の広さと自分が持つ職業スキルが理解できるようになり、書類選考通過率が飛躍的に伸びた。面接対応に支援の力点を移し、面接ではできること、やりたいことをしっかりと伝えられるようになり、第一志望の企業に就職された。

ケース4（50代・男性）

来談経緯

パソコンの扱いが不慣れ。応募書類作成セミナーを受講したが、定期的な相談での求人情報提供と応募書類の添削を希望。

課題

- ① 内臓系の持病と腰痛があり、重量物の運搬ができないなど就業に若干の制限がある。
- ② 父親が亡くなり、同居の母親の様子が心配であるなどの話もあり、直ぐに就職はしづらく、家庭事情に配慮する必要がある。

相談内容

ご自身のスケジュールに従って、定期的面談及びサポートを行った。応募を促すよりも、ご自身の考えに沿った支援を行った。

ハローワーク求人だけでなく、その他の媒体からも積極的に応募求人を検討されている。検討の際には、培ってこられた業界知識を活かしておられた。また、必要であれば現地に下見に行くなど、準備に事欠かない方である。

毎週面談に来られる時期もあったが、体調や家庭の事情で中断期間もあり、ほぼ2年に渡る支援となった。

支援結果

家庭の事情等により、失業状態が長期化したものの、長年培ってこられた物流業界での経験を活かし、再就職が実現できた。

ケース5（30代・女性）

来談経緯

高校の実験助手や授業補助を9年経験してきた。祖父母に続き父の介護があり残業が多い職業にはつけない状態であった。日光過敏症のため職種にも制限がある。安定して長期に働けるところに就職したい。

課題

- ①高校での助手の経験が一般企業で活かせるかどうか心配。
- ②祖父母と父の介護があり、実家の手伝いもしながらの就職になるため、残業がなく土日祝休みで長く勤められるところを希望。
- ③事務的要素があり、自身の特性である対人コミュニケーションスキルを活かせる仕事を希望。

相談内容

収入面では月に最低18万円を希望。長く勤められることを重視し、正社員にはこだわらず、雇用期間の定めのない求人を探していく。

事務職に自信がない様子であったが、高校の商業科目の授業補助もやっており、簿記会計ソフト、PC事務ソフト（Word、Excel、PowerPoint、Access等）を使うことができる。応募書類がパソコンでしっかり作成されており、PCスキルは高い。経験してきた仕事の中から事務的要素をどのようにアピールできるかに重点を置き、応募書類や面接対策を実施し、心配を払拭し自己アピール力を強化していった。事務オンリーの仕事ではなく、対人コミュニケーション能力を活かせる求人として、保育園・幼稚園・小中学校の教育資材・文具メーカーの受注処理を行うものを提案・紹介した。

支援結果

学校教育現場での経験が評価されての採用となった。発注する側におられたことや、最近ではWebでの受注も多いことからPCスキルも評価された。良好な対人コミュニケーションを築くことが得意な性格であり、学校関係者からの注文相談の際にも活かしていくことができる就職となった。

ケース6（20代・女性）

来談経緯

仕事に対する意欲、やる気は持っている。今までは接客業をしてきたが、今後は接客はしたくない。かといって自分に何ができるかわからず、自分のアピールポイント（強み）が表現できない。

課題

- ①意欲が高ければ職務能力向上が十分可能であり、求人者の評価にも繋がるという意識が本人にはあまりない。
- ②未経験職種に対して、やり切れる自信が持てていない。
- ③前職での実績（達成・貢献等）を振り返ってもらいが、なかなか思い出せない。

相談内容

仕事の基本を理解し、自分でもできるという自己肯定感を高める支援を行った。また、エピソードを伴って説明できる自分の強みを把握していった。

丁寧かつ意欲が高く感じられる履歴書の作成を支援した。職務経歴書については、強みを結論から説明し、さらにエピソードを伴って表現できたものになった。面接対策では、明るさ、元気、素直さの中でも特に素直さを出せるようにアドバイス。

応募については、積極的に複数応募していき、採用確率が上がるようにその都度助言していった。

支援結果

営業事務系の求人2社から内定をいただくことができた。転勤のない方を選択し、入社することになった。

ケース7（30代・男性）

来談経緯

大学卒業時の就職活動に失敗し、非正規で就労を続けてきた。「このままではいけない」との気持ちは強く、契約満了を機に再就職活動を開始するも、具体的に自分に合った職種を絞ることができない。

課題

- ①大学卒業時の就職活動でも希望職種が定まっておらず、あらゆる業界に応募していた。
- ②営業職もやむを得ないと考えるも向いていないし、事務職でも簿記会計は苦手。
- ③Web関連のクリエイティブな仕事に興味があるものの、Web制作に必要とされるスキルはない。

相談内容

Web制作の職業訓練を受講。デザインかプログラマーかSEかというところは、職業訓練校の説明会やカリキュラム、求人票を参考にしながら考えていった。訓練を終えた段階で、デザイン方面に絞っていくことになり、WebとDTPの両方で探していくことになった。

職業訓練で作成した作品のポートフォリオについて、制作コンセプトを明確にして、面接時に作品説明（プレゼンテーション）ができるよう準備を進めた。

実務経験がなくても応募可で入社後の指導が期待できる従業員が多い会社の求人を中心に提案していった。

支援結果

求人を提案するもご自身で動き出すまで時間がかかったが、応募3社目で大手印刷会社のグループ会社で「DTP制作オペレーター（未経験可）」の契約社員で内定。技術を習得し、正社員へのステップアップを図っていくこととする。面接時のプレゼンは採用担当者の興味を引いたようである。

ケース8（50代・男性）

来談経緯

体力面と長時間勤務への不安、さらに骨折で3か月休職したこともあり選択定年制を利用して早期退職。年齢的に次の仕事に就けるか不安。

課題

- ①自分の強みに気づいておらず、求人情報の収集も不十分で自己理解・仕事理解が不足している。
- ②最初の転職は社長と意見が合わず喧嘩して辞めたということについて、正直に話したい、嘘をつくのは嫌だとの強い思いがある。
- ③3つの職歴の中で異職種への転職が1回あるため、希望職種で転職できるか不安がある反面、経験職に対する誇りと自信がある。

相談内容

職務の棚卸が進む中で、業務改善の提案をやってきたことなどの強みに気づいていった。相談の度にご自身で求人票を検索してきていただき、こちらからも求人提案をしながら応募求人を絞り込んでいった。

模擬面接を行った中で、面接担当者の立場で「喧嘩して辞めた」と聞いた時にどのように感じるかを考えていただいた。最初の転職は、キャリアアップしたいとの思いがあった時に良い求人に出会い、退職を決意したということで、志望動機と絡めてポジティブな表現を提案した。

支援結果

面談を重ね、多くの求人情報について検討していくなかで、絞り込んだ1件の求人に応募し、採用決定となった。本人の経験や強みを活かせる製造職での就職であった。

ケース9（20代・女性）

来談経緯

高校卒業後、和歌山で製造職で就職。大阪で働きたく、販売のアルバイトに転職したが勤務が不規則だった。勤務時間が一定の事務職が良いと考えるも未経験で自信がなく、経験がある出荷業務で探したい。

課題

- ①職業訓練でパソコンスキルを上げることも検討したが、一人暮らしのため訓練修了まで半年近く不就労でいるのは困難な状態。
- ②具体的な日程は未定だが、近い将来結婚するので、仕事と家事の両立を考え、自宅近くでの就職を希望。
- ③就職活動が高卒時とアルバイトだけなので、応募書類作成経験がない。

相談内容

以前の製造職でも入力程度のパソコン操作は経験している。9時～18時の勤務で残業が少なく、簡単な出荷作業とそれに伴う事務処理の仕事を探すことになった。

応募書類作成について相談し、特に志望動機と自己PRの考え方についてディスカッションしながら文章化し、完成させた。また、面接対策を実施。

支援結果

自宅近くで「営業事務及び軽作業」の求人があり情報提供。正社員で十分に生活を賄える給料があり、交通機関の遅延等の影響も受けずに通勤が可能。

求人者に問い合わせると、長く働いていただける人材を求めるとのことで、本人の希望にも合致する。仕事内容も、以前製造職で経験した出荷作業に近い。

1件目の応募で1週間後に採用内定通知を受ける。経験を活かせる仕事内容であった。



厚生労働省

就活レポート 職業相談事例集

令和元年8月8日 発行

編集・発行 ハローワーク梅田 職業相談第1部門

住所 大阪市北区梅田 1-2-2 大阪駅前第2ビル 16階

電話 06-6344-8609 (41#)